



社会との かかわり

SOCIETY

メセナ活動

「メセナ」とは「文化・芸術の擁護」を意味するフランス語で、古代ローマ時代に詩人や芸術家などを手厚く擁護・支援した政治家、ガイウス・マエケナス(Maecenas)の名前に由来しています。メセナは企業による社会貢献活動の一部という側面もあり、欧米では早くから企業による活動が行われていました。日本においては、1988年の日仏文化サミットを機に「メセナ」という言葉が導入され、企業がパートナーシップの精神に基づいて行う芸術文化支援をさす言葉として広く一般に知られるようになりました。近年では企業が主催するコンサートやオペラなどの文化公演の他にスポーツなどのイベント開催、財団を通じての資金的バックアップなどもメセナ活動と理解されています。この特集では、久光製薬が支援する文化・芸術活動についてご紹介します。

久光製薬カルチャー・スペシャル

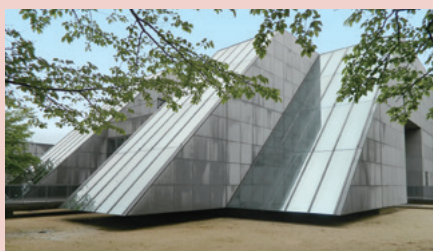
『世界に通じる文化の伝承』をテーマに、演出家・蜷川幸雄氏による演劇を「久光製薬カルチャー・スペシャル」として特別協賛しています。蜷川幸雄氏は、日本を代表する演出家として現代劇からシェイクスピア、ギリシャ悲劇まで幅広い作品を世に送り出してきました。その活躍は日本国内だけではなく海外でも広く注目され、各地で高い評価を得ています。久光製薬カルチャー・スペシャルにおいても圧倒的な世界観と鮮烈なビジュアルイメージで観客を惹きつけ、毎回好評を博しています。



カルチャー・スペシャルにお越しいただいたお客さま

彫刻家 チェッコ・ボナノッテ

チェッコ・ボナノッテ氏は1942年生まれのイタリア人彫刻家です。「具象彫刻の鬼才」「造詣の詩人」とも評され、人間を主題とした感情豊かで独創的な作品を数多く生み出してきました。深い精神性をたたえた同氏の作品は世界中で高く評価され、2000年にはヴァチカン美術館の大扉の製作も手がけました。2012年には芸術の分野で国際的に権威ある賞「第24回高松宮殿下記念世界文化賞彫刻部門」を受賞し、世界的に顕著な業績を上げた芸術家のひとりとなっています。



ボナノッテのデザインによる中富記念くすり博物館



中富記念くすり博物館の正面ホールにある作品「生命の種子」

久光製薬は、チェッコ・ボナノッテを長年にわたり支援してきました。1995年に開館した中富記念くすり博物館はチェッコ・ボナノッテの設計デザインによるもので、エントランスホールにはブロンズ立体レリーフ「生命の種子」が設置されています。この作品は6つのパネルからなる大作で、同氏の世界観が力強く表現されています。2002年にはダンテの「神曲」をモチーフに製作したドローイング作品「ボナノッテが描いたダンテ『神曲』展」を中富記念くすり博物館のほか、東京のイタリア文化会館にて開催しました。久光製薬九州本社内にも代表作「対照」が置かれており、同氏と日本をつなぐ架け橋となっています。

ホジェル・メロ展

久光製薬九州本社内には福岡・佐賀管轄ブラジル連邦共和国名誉領事館があり、世界的評価の高い音楽や芸術作品を生み出すブラジル文化を日本に紹介するために活動しています。2015年は日本とブラジルの外交樹立120周年を迎える記念の年であり、その記念行事の一環としてブラジル人絵本作家であるホジェル・メロの原画展を福岡県立美術館にて開催しました。



ホジェル・メロの作品



展覧会の会場

ホジェル・メロ氏は2014年に児童文学のノーベル賞と呼ばれる「国際アンデルセン賞画家賞」をブラジル人として初めて受賞した絵本作家で、鮮やかな色彩と多様な表現性が大きな特徴となっています。当展覧会では、日本ではまだ翻訳されていない絵本の原画を展示し、多くの人々にブラジルの文化に触れていただきました。

■ 国際アンデルセン賞

1953年に創設された「子どもの本」に関する分野で最も歴史ある国際賞で、2年に1度作家1名と画家1名に贈られます。選考水準の高さから「小さなノーベル賞」と称されています。

メセナ活動の役割

経済の発展に伴い、企業は経済組織体として利益獲得や経済合理性を追求してきました。しかし、企業は社会を構成する一員として社会と共生し、信頼される存在でなければなりません。当社は文化支援活動を通して社会に貢献することも企業の活動意義のひとつであると認識し、今後もさまざまな文化活動を支援してまいります。

社会とのかかわり

スポーツの支援

当社は、スポーツ支援を通じて、健全な社会の発展と人々の健康づくりを支援しています。久光製薬スプリングスにおける日本を代表する選手の育成や、バレーボール教室開催による次世代スポーツ選手の育成支援などを通じてスポーツ競技の振興に努めています。また、ゴルフの国内公式戦や市民マラソン大会などの競技への協賛も行っています。

■ 企業スポーツ

久光製薬スプリングスは、従業員の福利厚生として始まった社内のバレーボールチームでしたが、天皇杯・皇后杯やVプレミアリーグで優勝するなど、会社を代表する顔として、また地域を代表するチームとして活躍しています。久光製薬スプリングスには、日本を代表する選手が所属し、女子バレーボール界の発展にも寄与しています。



久光製薬スプリングス

■ 次世代スポーツ選手の支援

次世代を担う子どもたちのスポーツ振興の一環として、さまざまなスポーツ大会への支援やバレーボール教室の開催を行っています。

久光製薬スプリングスの選手が指導するバレーボール教室では、ジュニア選手への指導の他、チームのコーチやトレーナーによる指導者講習なども実施しています。

また、全国高等学校総合体育大会（インターハイ2014）では、出場校に筋肉ケア商品を入れたメディカルバッグの提供を行いました。

■ スポーツ競技会の支援

当社は、各種スポーツ大会の支援として、2014年、ゴルフの国内公式戦ワールドレディスチャンピオンシップ サロンパスカップの特別協賛を行いました。また、大阪マラソン2014、東京マラソン2015に協賛し、参加者への筋肉疲労のケア支援を行いました。佐賀県ママさんバレーボール大会も特別協賛し、市民スポーツの支援も行っています。



東京マラソンのゴール付近



インターハイ・陸上競技でのケア支援



バレーボール教室での指導

文化・教育

当社は、文化・芸術を通じた「生活の質」向上のため、講演会をはじめとする各種文化イベントを開催しています。全国主要都市で協賛する演劇、九州本社の地元で開催した市民講座やお茶会には多くの方々に参加いただきました。また、くすりに関する教育の場となる博物館や健康科学に関する財団を設立し、くすりと健康に関する科学と教育の発展にも努めています。

■ 久光製薬鳥栖市民講座

元航空幕僚長の田母神俊雄氏による講演を佐賀県鳥栖市で開催しました。1,400人近い市民の方々に、国際社会について分かりやすく解説していただきました。また、プロスキーヤーの三浦雄一郎氏にも、80歳にしてエベレスト登頂に挑まれた経緯やエピソードなどについて体験を熱く語っていただきました。なお、当講座の入場料は、障がい児支援施設に全額寄付しました。

第20回：「これでいいのか?ニッポン」(田母神俊雄氏)

第21回：「80歳エベレスト挑戦-希望への軌跡-」
(三浦雄一郎氏)



鳥栖市民会館(佐賀県鳥栖市)での市民講座

● 文化イベント



蛭川幸雄氏演出の久光製薬カルチャー・スペシャル「海辺のカフカ」を全国4会場で上演。特別協賛を続けて13作品目となった本作品にも多くの方が来場されました。

● 健康セミナー



九州朝日放送の健康番組と連携し、「とっても健康セミナー」を福岡、宮崎で開催。インストラクターの指導で健康体操を行うなど、両会場で1,500名以上の方々が参加されました。

● 伝統文化の継承



九州本社に隣接する別邸および西公園にてお茶会を開催。春と秋の年2回、地元の方や茶道関係者が参加され、歴史や文化を身近に触れる機会となっています。

地域社会とのコミュニケーション

久光製薬は、社会インフラの上によって事業活動を継続しており、地域社会との良好な関係の中で共に発展することが重要なことと認識しています。当社は、相互理解のために工場見学コースを設け、当社の事業活動を見ていただいています。また、地域社会との各種交流会や生活基盤向上のための情報提供などを行うとともに、地域の文化財保存にも力をいれています。

■ 工場見学

国内の生産拠点である鳥栖工場(佐賀県)では、「サロンパス®」「モーラス®テープ」などの製造工程を、一般の方々に見学いただいています。宇都宮工場(栃木県)でも同様に最新鋭の製造ラインを見ていただいています。

2014年度は、鳥栖工場で3,000名あまり、宇都宮工場で1,000名を超える工場見学がありました。また、大学の早期体験学習として、薬学部の学生さんを受け入れ、見学の後に当社従業員との意見交換会も行っています。

申込み先

鳥栖工場 九州本社総務部 0942-83-2101

宇都宮工場 宇都宮工場工場管理課 028-667-6761



鳥栖工場での工場見学



工場見学後の意見交換会

■ ケーブルテレビ

子会社であるCRCCメディアと佐賀シティビジョンは、鳥栖市・久留米市・佐賀市を拠点に、ケーブルテレビやインターネット電話のサービスを行っています。議会中継をはじめ行政、商工会議所などの情報や、地域のスポーツイベント・行事などを取材し、地域の皆さまのコミュニケーションツールになるよう努めています。

■ 武家屋敷保存

福岡県中央に位置する秋月(福岡県朝倉市)は黒田官兵衛の孫にあたる長興公の城下町で、武家屋敷群が保存されています。その秋月武家屋敷のひとつ久野邸は上級武士の屋敷跡で、中富博隆会長の母方の生家にあたります。腕木門や母屋、離れ座敷、山を借景とした庭園が残されており、当社は、この貴重な文化財の保存・管理を行っています。蔵資料館には、武具や日用品を展示し、一般公開を行っています。2014年度は、2,500名を超える方々が来場されました。



秋月(福岡県朝倉市)の久野邸

■ 夏祭り

九州本社のグラウンドで、地域住民や当社従業員とその家族による夏祭りを行いました。盆踊り用のやぐらや特設ステージ、屋台などを設け、2,000人余りが参加した催しとなりました。



当社グラウンドでの夏祭り

市民活動の支援

社会課題に取り組んでいる団体やNPOは、高い専門知識と経験を有している反面、経済的課題や広報の問題、メンバー拡大の問題などさまざまな課題を抱えています。久光製薬は、当社が持つ人的・物的資源や情報力、資金などの面でこれらの組織を支援することで、少しでも社会課題の解決につなげたいと考えています。

■ 久光製薬株式会社ほっとハート倶楽部

久光製薬株式会社ほっとハート倶楽部(3H倶楽部)は、従業員の寄付金と当社からの同額の寄付金で基金をつくり、国内外で活動しているNPOや市民団体を支援しています。

2014年度は、東日本大震災復興支援活動団体をはじめ障がい者の支援、環境保全活動、地域文化の保存、子どもの健全育成などを行っている51団体に寄付を行いました。九州本社、東京本社などで行った贈呈式には多数の団体代表に参加いただき、活動紹介や活動課題などの情報交換を行いました。また、2014年8月に発生した広島土砂災害への義捐金も当倶楽部から寄付いたしました。



贈呈式に出席された代表者

寄贈先から多くのお手紙をいただきました。

- お母さん方のパワーである笑顔、それが子供たちの未来の活力と信じて有意義な活動を目指します。
(親育ち実践会グループ085会)
- ご支援を励みに、地域の自然環境の保全、若者のボランティア活動への参加促進をさらに進めていきます。(トチギ環境未来基地)
- 小規模団体が事業を継続していくためにご支援をいただきメンバーの大きな励みになっています。
(あるべき支援を考える会)

■ 啓発運動の支援

■ 運動器の10年世界運動

運動器の10年・日本協会は、世界保健機関(WHO)の「BJD世界運動」を基本理念として、運動器の健康づくり活動を行っています。

当社は、この活動に賛同し、鎮痛消炎貼付剤および学術情報の提供を通して支援を行っています。

■ ロコモティブシンドローム啓発運動

運動器疾患や運動機能障害で、寝たきりや要介護(ロコモティブシンドローム)にならないよう、日本整形外科学会では啓発活動を行っています。

当社は、ロコモティブシンドローム啓発運動に賛同し、マスコミなどを通じた啓発活動を行っています。

■ ボランティア活動

■ 街頭募金活動

日本赤十字社に協賛し、2014年12月に実施された「海外たすけあい」街頭募金活動に従業員500名あまりが参加し、全国の主要都市で募金を呼びかけました。

■ 日赤企業献血

九州本社では、春と秋の年2回、従業員による献血活動を行っています。献血センターの採血車が来社し、毎回100名近い従業員が献血に参加しています。

海外子会社の社会貢献活動

ステークホルダーが企業に期待する社会貢献は、国・地域によって異なります。日本では商品の安全性や環境問題への取り組みが注目されますが、海外では地域活動の支援、人権問題、貧困・教育問題への取り組みが強く求められます。海外展開する当社は、その国・地域とのコミュニケーションを大切に、よき企業市民を目指した社会貢献活動に取り組んでいます。

■ 久光インドネシア

子どもたちが職業体験できる施設「キッザニア・ジャカルタ」に、久光インドネシアのブースを設けています。ここでは、6歳から16歳の子どもたちが白衣に着替え、痛みのメカニズムや治療法について学ぶことができるようになっています。2014年は28,000名あまりの子どもたちが来場し、貼って手当てる治療を体験しました。



キッザニア・ジャカルタでの職業体験

インドネシアには、多くの宗教行事があります。イスラム教の祝日である断食明け大祭(レバラン)もその一つで、各家庭で数日間をわたって宴が行われます。多くのイスラム教の従業員がいる久光インドネシアでも、断食明けの夕方、全員参加で食事会を行っています。



断食明けの食事会

■ 久光ブラジル

久光ブラジルは、アマゾナス州マナウス市にある障

がい者施設アパエを支援するために、アマゾナス日系商工会議所と共同でチャリティー・バザーを行っています。郷土料理フェイジョアードや雑貨の販売で得た収益金は施設に寄付しています。また、地元の踊りポイブンバで施設の子どもたちとの交流も深めています。

■ 久光ベトナム

予選大会を含めて30万人以上が参加するベトナムの市民マラソン、ハノイモイマラソンに久光ベトナムは2010年からメインスポンサーとして協賛しています。その貢献が認められ、HANOI人民員会より「首都ハノイへの貢献事業」として表彰を受けました。

久光ベトナムでは、ビエンホア工場から約70km離れたファンティエット海岸で、社員旅行を兼ねた清掃ボランティア活動を行いました。約100名の従業員が参加した活動に対して、地元の方から感謝の言葉をいただきました。

また、交通量が多いビエンホア工場外周部でもグリーンアップ活動を行っています。2013年から、地域社会貢献を学ぶ社内研修の一環として毎週月曜日の朝礼後に行っています。



ファンティエット海岸での清掃活動



ビエンホア工場付近での清掃活動

■ 久光アメリカ

アメリカ、チャールストンで3月末から4月上旬に開催されたプロテニストーナメント“Family Circle Cup”に協賛しました。大会のイベントコーナーにブースを設け、プロテニスプレイヤーのサイン会などで、テニスファンに楽しんでいただきました。



テニス大会でのサイン会

■ ノーベン社

ノーベン社の従業員が、「ノーベン社会貢献の日」を利用して、His House Children's Homeでボランティア活動を行いました。His House Children's Homeは、薬物乱用をしている親から子どもを保護し、安心して暮らせる場を提供する施設で、育児の専門家や保育士によって運営されています。ノーベン社の従業員は、His House Children's Homeの倉庫で、多くの方から寄せられた寄贈品の仕分けと整理を手伝いました。ノーベン社会貢献の日を利用した活動は、参加した組織から大きな感謝を受けるとともに、従業員にとっても大変貴重な経験になっています。

ノーベン社では、奨学金や学用品などを、次世代の育成を目的に寄付しています。

「Brisdelle®のコンプライアンスパッケージ賞」受賞を記念して、\$3,000の奨学金を、パッケージエンジニアリング過程をもつ大学の学生に贈りました。また、Salvation Army Apple Tree活動として、学用品などを入れたリュックサックを200人以上の子どもたちに贈りました。Salvation Army Apple Tree活動は今回で3年目になります。



His House Children's Homeでのボランティア

■ シンガポール支店

東南アジアを管轄する当支店では、その国、地域の方々がより健康でより豊かな生活ができるよう、地域に根ざした貢献活動を行っています。

■ シンガポール

NTUC (日本の生協に相当)が主催するスポーツイベントに参加し、筋肉ケアの啓発活動を行いました。また、Lianhe Wanbao Health & Beauty Fair(140,000人)、Health & You Exhibition(100,000人)や少年野球イベント(400名)でもケア用品の提供を通じて、スポーツ支援を行いました。

■ フィリピン

クリニックや商業施設で、子どもや親を対象に、当社商品を使った熱中症対策の啓発活動を行いました。



熱中症対策の啓発活動

■ タイ

マラソン大会のスタート前に、Salonpas® Creamを使用し、筋肉ケアの啓発を行いました。また、ゴール後、貼付剤をランナー一人ひとりにサンプリングシアフターケアの大切さを呼びかけました。



ランナーへのケア支援

■ 財団支援

■ 公益財団法人 中富記念財団

当財団は、佐賀県鳥栖市にある中富記念くすり博物館の運営を行っています。当博物館は、くすりの文化遺産を11万点ほど保管し、くすりの基礎知識やくすりの歴史・文化などを学ぶことができるよう数多くの資料展示を行っています。

また、おとそ教室などのさまざまな行事や、出前教室を開催し、くすりに関する啓発活動を行っています。当社は、財団の運営支援を行っています。



中富記念くすり博物館の正面入り口

■ 公益財団法人 中富健康科学振興財団

健康増進に関する医学・薬学および運動科学の研究に対して、毎年助成金を交付しています。2014年度は助成金70件と、健康科学の発展に功績があった研究に対して中富健康科学振興賞2件を選び、総額1億円を贈呈しました。創業家の資産提供による財団設立以来、27年間で延べ1,030名の研究者に対し10億6千万円の助成を行ってきました。当社は、当財団の運営支援を行っています。



助成金を贈呈した先生方

■ 学習まんが「貼り薬のひみつ」

工場見学に来られた方々から、「サロンパス®が、このように作られていることを始めて知った」という感想を数多くお聞きしていました。当社は、サロンパス®発売80周年を機にもっと多くの方々に生産されている様子や貼付剤の開発などを知っていただきたい、小学生にも分かりやすくお伝えしたいという思いで、学習まんが「貼り薬のひみつ」を制作しました。

この本は、お父さんやお母さんの肩こりを癒したいという子どもたちが、九州にあるくすり博物館や鳥栖研究所、工場を訪問し、貼り薬の歴史や貼り薬の長所、さらに貼り薬ができるまでを知るというストーリーで作られています。昨年、この本を、全国の小学校22,300校、公立図書館3,200館に配布しました。



学習まんが「貼り薬のひみつ」

VOICE



文化事業・CSR推進室
森 久美子

文化事業・CSR推進室は、お茶会や鳥栖市民講座、久光製薬株式会社ほっとハート倶楽部など多岐にわたる社会貢献活動を行っています。いずれのイベントにおいても、どうしても参加される方に喜んでいただけるのかということを第一に、試行錯誤しながら取り組んでいます。

私たちの取り組みが社会の皆さまのお役に立ち、1人でも多くの方に久光製薬のファンになっていただきたいという思いで、また同時に従業員全員が社会貢献活動に携わることができるようなれればと考えながら活動しています。会社の歩みとともに社会の皆さまに信頼され、共生できる企業を目指し、今後ともさまざまなことに取り組んでいきたいと思っております。